

令和 5 年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：京都光華女子大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

幼稚園教員二種免許状を有する教員が一種免許状への上進が可能となるよう、希望者を対象に免許法認定講習を開設・実施するとともに、二種免許状を有する教育職員の専門性の向上を図る。

(2) 事業概要 ※実施日程を必ず明記すること。

日程	科目名	科目区分	申込人数	受講人数	勤務先区分	年齢
令和 5 年 7 月 15 日 7 月 29 日	保育内容総論	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の工夫を含む。)	2 名	2 名	私立幼稚園 (2 名)	50 代 1 名 30 代 1 名
令和 5 年 7 月 12 日 7 月 19 日 7 月 26 日 8 月 2 日	保育内容研究	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の工夫を含む。)	0	0	光華幼稚園 教員対象に 研修として 2 回のみ実施	
令和 5 年 8 月 18 日 8 月 24 日 8 月 25 日 8 月 26 日	保育実践研究	/	1 名	1 名	私立幼稚園	50 代
令和 5 年 11 月 18 日 11 月 25 日	保育の計画と 評価	教育課程の意義及 び編成の方法 (カ リキュラム・マネ ジメントを含む。)	4 名	3 名	私立幼稚園	50 代 2 名 40 代 1 名
令和 5 年 12 月 2 日 12 月 9 日	子ども家庭支 援の心理学	教育相談 (カウ ンセリングに関する 基礎的な知識を含 む。) の理論及び 方法	2 名	2 名	私立幼稚園	50 代 2 名

(3) 成果（事業の実績の説明）

令和5年度開講科目 免許法施行規則に定める科目区分等

開講科目	単位数	免許法施行規則に定める科目区分等	
保育内容研究	1	保育内容の指導法に関する科目	情報機器及び教材の活用を含む
保育内容総論	1	保育内容の指導法に関する科目	情報機器及び教材の活用を含む
保育実践研究	2	大学が独自に設定する科目	
保育の計画と評価	1	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)
子ども家庭支援の心理学	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法

12月2日	テーマ	オンライン授業 内容
①	生涯発達に関する心理学の基礎的知識を学ぶ	エリクソンの発達理論を学ぶとともに、異なる世代の交流の可能性と課題について知る。
②	現在の家族・家庭のあり方、子育て環境について考える	現在社会における、さまざまな家族のかたちや子育て環境について知り、その上で保育者・教員として求められる支援のあり方を考える。
③	家族のあり方をとらえる心理学的理論を学ぶ	家族全体を1つのシステムとして捉え、支援する「家族療法」の理論を学ぶとともに、子どもの心の健康について知る。
④	事例検討会に向けて	事例検討に際して求められる参加者の心構えや守秘義務について知る。事例検討のための資料の作り方について学び、対面授業に向けて資料を作成する。

12月9日	授業時間	テーマ	対面授業 内容	備考
1	8:50～10:20	心理療法に関する諸理論を学ぶ	心理療法・カウンセリングを学ぶ上で重要なフロイト・ロジャース・行動療法の理論について学ぶ。	
2	10:30～12:00	ボードゲーム体験を通して「見え方」「感じ方」の違いを学ぶ	ボードゲームという遊びを通して、参加者自身の見え方や感じ方の違いを知る。その上で、1人1人の子どもに対して、保育者・教員としてどのように関わっていくことができるかを考える。	時間余裕があれば、補講のレッスンを実施
3	12:50～14:20	カウンセリング系「からだ体験」を通して学ぶ	京都大学名誉教授(現日本心理臨床学会理事長・日本臨床心理士資格認定協会専務理事)藤原勝紀氏による学習法。簡単なボディワークとそのサポート体験を通して、カウンセリングの援助のあり方について考える。	
4	14:30～16:00	事例検討会	保育・教育現場での事例に対して、臨床心理学的観点から検討を行い、今後の保育・教育実践において生かすことができる視点やかかわりについて考える。	

【オンライン講座に係る工夫点等 事例：「子ども家庭支援の心理学」】

12月2日にオンデマンドにより、現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況を知り、子どもや家庭の支援のあり方について考える。授業では、現代の家族をとりまく心理・社会的環境に焦点を当て、その中での親子関係のありかた、その変化、課題について検討する。その上で、子どもの育ちだけでなく、親としての育ちを支える保育者・教員に求められる心理学的知識、態度について学ぶ、という内容であった。到達目標は、次の3点。

1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を身につける。
2. 現代の家族をとりまく心理・社会的環境、その課題を理解する。
3. 子どもと家庭を支える保育者・教員のあり方について考える。

オンデマンドで理論をしっかりと学び、学んだことをベースに12月9日に対面による体験的、実践的な学びを展開した。対面講義の到達目標は次の3点。1. カウンセリングおよび保育・教育相談の基本的知識・技能を身につける。2. 保護者の状況を理解し、一人ひとりにあった適切なかかわり、連携について考える。3. 子どもの状況を理解し、一人ひとりにあった適切なかかわり、連携について考える。

オンデマンド講義を通して、理論を身に付けるとともに受講者が疑問や課題意識をもって体験的な学びや実践的な学びを展開し、深い学びが実現した。(受講者の感想に表現されている)

【受講者数について】

定員30名に対して受講者数3名という状況から、課題の分析を行った。

募集活動の中で課題として挙げられる現場の声には、以下のようなものがある。

- ・受講したい気持ちはあるが、日々の業務が忙しく時間的な余裕が無い。
- ・必ず受講しなければならない、というものではないので受講が難しい。
- ・二種免許状を一種免許状に上進しなければ困る、という状況が無い。

上記の反応から、主体的に自らの資質・能力を向上させるという意識改革が必要であると感じている。今後、受講者数を増やすために引き続き以下のような連携を更に進めていく。

- ・幼稚園の園長から、教諭の資質・能力向上のため積極的に受講を促す声掛けをしてもらう。
- ・教育委員会から、園長及び幼稚園教諭へ上進講習の意味と目的を周知してもらい受講者数を増やす。
- ・本学から繰り返し、受講依頼のアナウンスを行う。

(4) 今後の課題・展望

今後の課題としては、とにかく幼稚園教諭二種免許状上進のための免許法認定講習の受講者を増やすことである。関係機関と連携し、幼稚園教諭二種免許状上進のための免許法認定講習の重要性を周知する。

また、魅力ある免許法認定講習として、特に以下の2点について今後もその質を高めていく。

- ・本学キャンパスに隣接する併設幼稚園である光華幼稚園との連携により、理論と実践を往還しながら専門性を向上させる講習を提供する。
- ・講義実施においては、対面授業とオンデマンド（双方向・対話的）な授業を併用したハイブリッド型の開講形態による